

事業間優先度評価システム 評価シート

主要目標番号	I. I - 3. (3)
対象事業	経営体育成基盤整備業 ため池等整備事業
主要目標	農業用排水能力の向上

優先順位付け の考え方	対象地区・箇所名	個別事業の妥当性評価						事業間優先度の評価						事業間 ランク	コメント	評価結果		
		公共関 与、事 業執 行 主 体 の 妥 当 性	経済効 率性	事業実 施、規 模の妥 当性	整備手 法の有 効性	環境負 荷への 配慮	事業計 画の熟 度	貢献度ランクの評価				副次効果ランクの評価						
								貢献度 ランク	残存耐用 年数	用排水能力 向上率		副次効果 ランク	評点					
既存施設の老朽 化が進んでおり、 用水能力も劣って いる地区を優先す る。	豊富北部	○	○	○	○	○	○	a	—	1.12			1	4	SI	事業間ランクSIであり、優先度が高い	実施	
	穴山新田堰	○	○	○	○	○	○	a	-∞	1.00			1	4	SI	事業間ランクSIであり、優先度が高い	実施	
									基準値	0年以下	1以上			基準値	4.0			

副次効果評価シート

主要目標番号		I-1-3(3)		主要目標に 対する副次効 果項目	対象地区・道 内で認定され る副次効果	評価の説明	評価結果	
主要目標		農業用排水能力の向上						
評価対象地区・箇所名		穴山新田堰						
主要目標体系	I 農民生活の豊かさや経済の発展を支える基礎充実	I-1 交通の利便性の向上	1-1 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
				(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上				
				(3) 観光地内外の交通の円滑化				
				(4) 市街地内の交通の円滑化				
				(5) 業集積・小規模拠点施設へのアクセス向上				
		I-2 生活環境の向上		(1) 森林機能の維持・向上				
				(2) 親い空間の創出				
				(3) 生活排水処理機能の向上				
				(4) 良好な市街地空間の確保				
				(5) 適正な居住空間の確保				
I-3 農林水産業の振興		(1) 農村生活・生産機能の向上						
		(2) 農業所得の向上	●	○	主要目標「農業生産力の向上」の評価指標によるラングla 農業所得増加額 851千円/ha ≧ 709千円/ha	2		
		(3) 農業用排水能力の向上	●					
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)						
		(5) 森林整備の効率化						
		(6) 洪水被害危険度の軽減	●					
副次効果項目	II 暮らしと経済活動の安全性	II-1 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保					
			(2) 災害に強い道路の確保					
		II-2 洪水・土砂災害の防止	(1) 洪水被害の防止					
			(2) 土石流被害の防止					
		II-3 鳥獣被害の防止	(3) 崖崩れ被害の防止					
			(1) 鳥獣被害の軽減					
		副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化				
				アクセス機能の維持				
				主要送排水パイプの解消	●			
				水質の浄化				
大気汚染の軽減								
騒音・振動の軽減								
良好な景観の創出								
ハビタビラー化の促進								
ライオンライフの強化								
身近な緑地・交流の場の提供	●							
雑尿の処理								
地域の文化・学習等活動の支援	●							
各種情報の円滑な提供	●							
副次効果項目	自然環境	水源涵養機能の向上						
		生態系空間の再生						
		防火帯・延焼遮断帯の確保						
		緊急時の避難・救助機能の確保						
		被害時の被害波及の防止						
		既存施設の崩壊危険性の排除	●	○	水路の老朽化による崩壊危険性の排除	1		
		走行安全性の確保						
		林業所得の向上						
		遊休農地の解消						
		新たな公共用地の創出	●	○	水路の老朽化による農地の浸食・埋没を回避	1		
副次効果項目	生産性	農地の保全	●					
		農林産物の販路促進						
		自然エネルギーの活用	●					
		リサイクルの推進	●					
		文化・歴史的資源等の保存・復元	●					
		他事業との一体施工	●					
		重要プロジェクトとしての位置づけ	●					
		副次効果項目	その他					

副次効果評価
点合計

4

注1) 主要目標に対応する副次効果項目の欄に●が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に○を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのラング区分の基準に従いラング付けを行い、ラングAに該当するものは2点、ラングB以下の場合は1点とする。